

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	医療政策課長 家本 賢	電話番号	0852-22-6252
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	地域医療の連携推進		
目的	(1) 対象	医療機関、県民	
	(2) 意図	県民が適切な医療を切れ目なく受けられるよう、医療連携体制の構築を進める。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 各地域における医療機関の連携を進めるため、医療機関等に対して研修会、連絡会、講演会などを行う。 寝たきり老人及び心身障害児（者）の歯科医療を確保するため、県歯科医師会に対して補助金を交付する。 医療機関や介護施設等の連携を促進するため、しまね医療情報ネットワークシステム“愛称『まめネット』”の整備運営を行う ドクターヘリ等による搬送の迅速化を図るため、ヘリポート臨時離着陸場の整備・改修を行う 		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	地域連携クリティカルバスの策定数	7.00	7.00	7.00	
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
式・定義	地域連携クリティカルバスの策定数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	71,288	366,782
うち一般財源(千円)	2,233	3,016

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

各圏域での地域連携クリティカルバスの策定等が進むとともに、まめネットの医療機関の加入促進（全病院の約7%、施設内診療所を除く医科診療所の約43%）が図られ、全県域で地域連携の推進がされた。ドクターヘリ等の臨時離着陸場については、ドクターヘリ臨時離着陸場に登録されている地点のうち約65%は、ヘリコプター着陸前に粉じんが舞い上がることを防止するため、地元消防による散水が必要であり、円滑な搬送が妨げられている状況である。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

各圏域において地域保健医療対策会議を設置し、医療連携体制の構築に向けた検討会議等を開催することにより、各圏域での地域連携クリティカルバスの策定等が進むとともに、「まめネット」を活用した情報共有が進んだ。ドクターヘリの臨時離着陸場は、補助制度の活用による芝生化やコンクリート化が一部進んでおり、通報から搬送までの時間短縮に寄与している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
地域医療構想の策定に向けて、各圏域における医療提供体制の検討が必要。
- ②困っている状況が発生している「原因」
地域医療構想に向けた検討は平成27年度から開始されるものであり、これから検討が行われる内容である。
- ③原因を解消するための「課題」
各医療圏において在宅医療を普及拡大していくための課題や取組を議論し、各圏域における医療提供体制を検討していくことが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き各圏域において地域保健医療対策会議を設置し、医療連携体制の構築に向けた検討会議等を開催する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）